

平成28年度大阪府中学生
チャレンジテスト（第3学年）の結果について

柏原市教育委員会

本冊子の構成

1. 調査の目的

2. 調査概要

【今後の重点課題について】

○教育委員会がすべきこと

○学校がすべきこと

○家庭がすべきこと

3. 教科別の調査結果

4. 教科別のアンケート調査結果

5. 今後の取組み

1. 調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 大阪府教育委員会が、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (3) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のための PDCA サイクルを確立する。
- (4) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (5) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2. 調査の概要

- (1) 調査日 平成28年6月23日(木)
- (2) 対象学年 中学校第3学年全生徒
- (3) 調査内容 中学校第3学年 国語・社会・数学・理科・英語
アンケート調査

【柏原市の結果からみる今後の課題について】

●教育委員会がすべきこと

- 「書く力」の育成をねらった具体的な施策の提案及び実施
- 市における小中9年間を見通した英語教育推進
- 家庭学習の取組好事例の収集及び学校への周知

●学校がすべきこと

- 書かせる指導の見直しと組織的な取組みの推進
- 小中9年間を見通した英語教育の推進
- 家庭学習の組織的な取組みの推進

●家庭がすべきこと

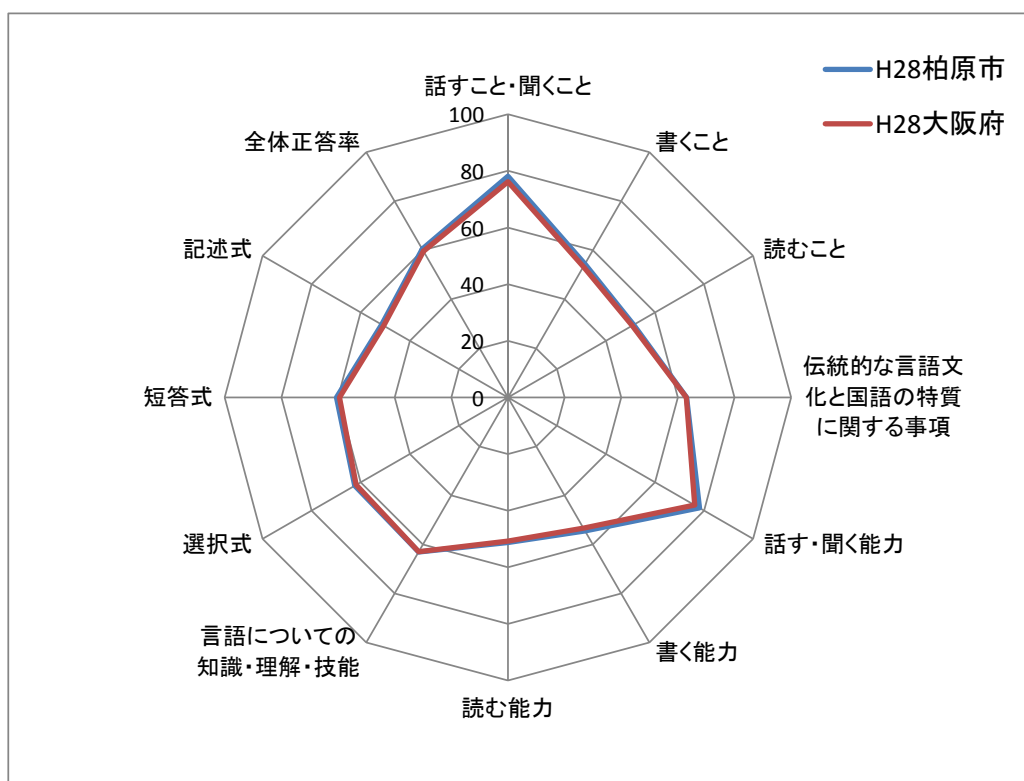
- 基本的な生活習慣の定着
- 家庭学習習慣の定着

3. 各学年・教科別の調査結果

①国語

	平均正答率(%)
柏原市	60.4
大阪府	59.6

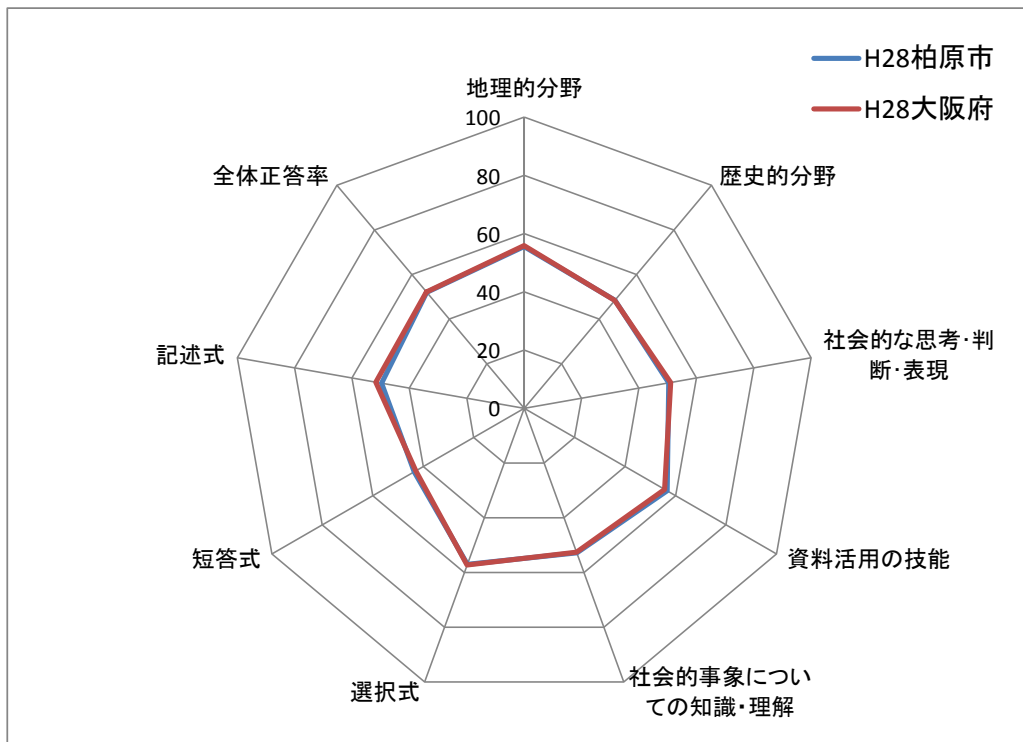
分類	区分	対象設 問数(問)	正答率	
			柏原市	大阪府
学習指導要領との関 連	話すこと・聞くこと	6	78.1	76.2
	書くこと	5	54.4	53.3
	読むこと	11	51.2	50.7
	伝統的な言語文化と国語の特質 に関する事項	11	63.1	62.9
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	—	—	—
	話す・聞く能力	6	78.1	76.2
	書く能力	5	54.4	53.3
	読む能力	11	51.2	50.7
	言語についての知識・理解・技能	11	63.1	62.9
問題形式	選択式	14	62.4	61.8
	短答式	17	60.5	59.5
	記述式	2	51.5	50.7
全体		33	60.4	59.6



②社会

平均正答率(%)	
柏原市	52.0
大阪府	52.2

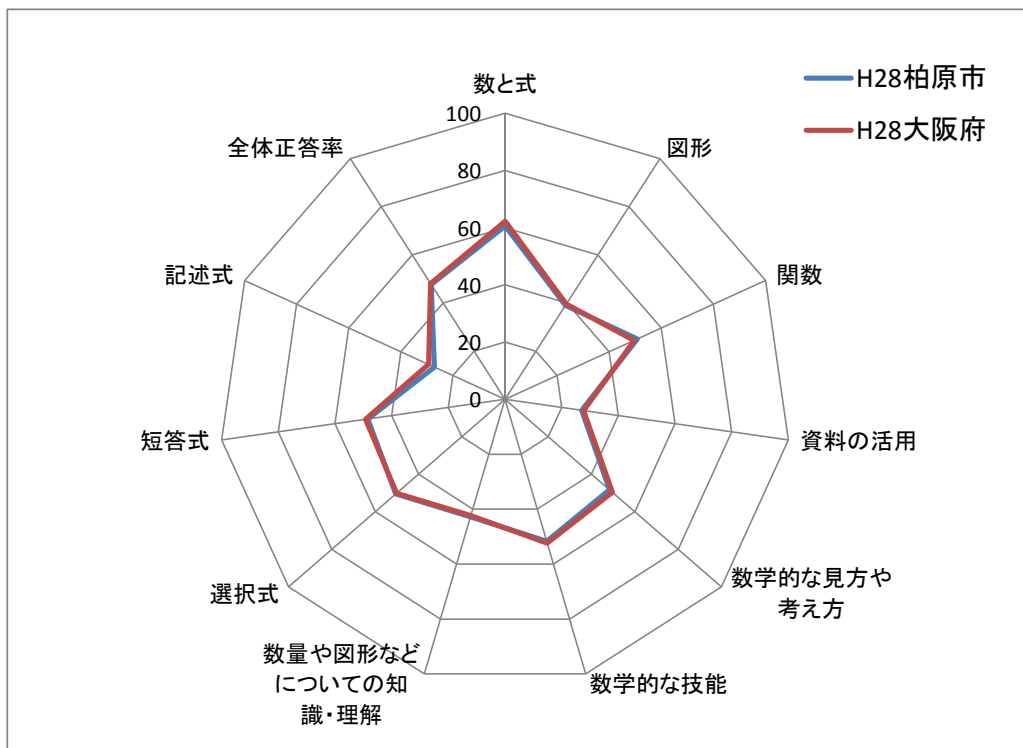
分類	区分	対象設 問数(問)	正答率	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域 との関連	地理的分野	17	55.6	55.9
	歴史的分野	20	48.5	48.4
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	—	—	—
	社会的な思考・判断・表現	17	50.4	51.1
	資料活用の技能	3	56.6	55.7
	社会的事象についての知識・理解	17	52.8	52.6
問題形式	選択式	24	56.9	57.2
	短答式	11	43.6	43.0
	記述式	2	49.7	51.7
全体		37	52.0	52.2



③数学

	平均正答率(%)
柏原市	47.7
大阪府	48.1

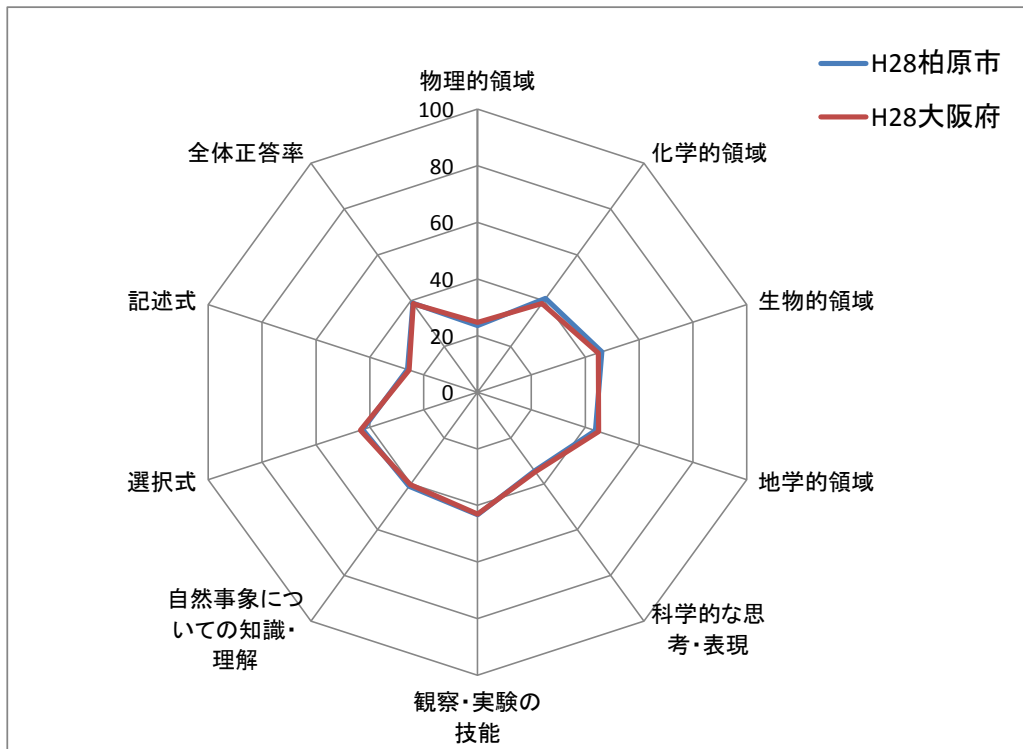
分類	区分	対象設 問数(問)	正答率	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域	数と式	10	60.6	62.2
	図形	10	39.0	39.5
	関数	9	50.8	49.5
	資料の活用	3	27.1	27.7
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	—	—	—
	数学的な見方や考え方	6	48.3	49.6
	数学的な技能	14	51.7	52.4
	数量や図形などについての知識・理解	12	42.8	42.4
問題形式	選択式	15	50.5	50.1
	短答式	15	48.4	49.3
	記述式	2	27.1	29.4
全体		32	47.7	48.1



④理科

平均正答率(%)	
柏原市	38.9
大阪府	38.6

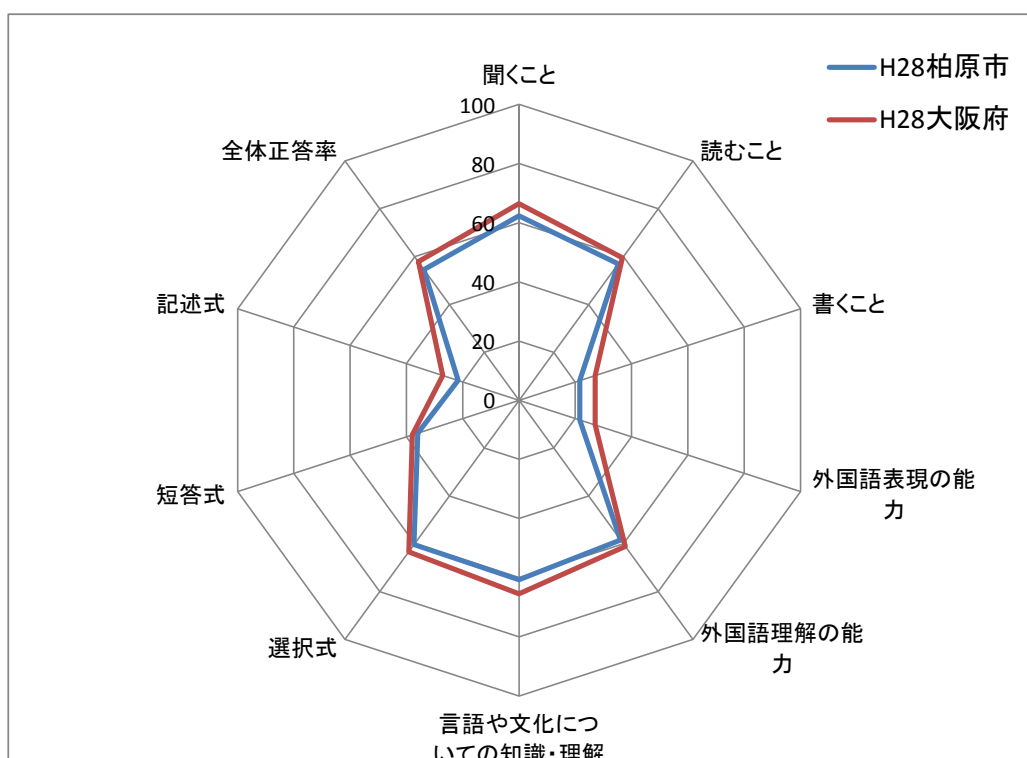
分類	区分	対象設 問数(問)	正答率	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域	物理的領域	8	23.6	24.7
	化学的領域	8	40.9	38.8
	生物的領域	9	46.1	44.9
	地学的領域	9	43.9	45.0
評価の観点	科学的な思考・表現	12	34.4	34.8
	観察・実験の技能	3	43.3	43.1
	自然事象についての知識・理解	19	41.1	40.4
問題形式	選択式	17	42.6	43.4
	記述式	3	26.0	25.4
全体		34	38.9	38.6



⑤英語

	平均正答率(%)
柏原市	54.6
大阪府	57.9

分類	区分	対象設 問数(問)	正答率	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域	聞くこと	11	62.4	66.4
	話すこと	—	—	—
	読むこと	23	57.0	59.5
	書くこと	3	21.7	27.1
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意 欲・態度	—	—	—
	外国語表現の能力	3	21.7	27.1
	外国語理解の能力	28	58.4	61.1
	言語や文化についての知識・理 解	6	60.7	65.5
問題形式	選択式	31	60.3	63.4
	短答式	3	36.0	37.9
	記述式	3	21.7	27.1
全体		37	54.6	57.9

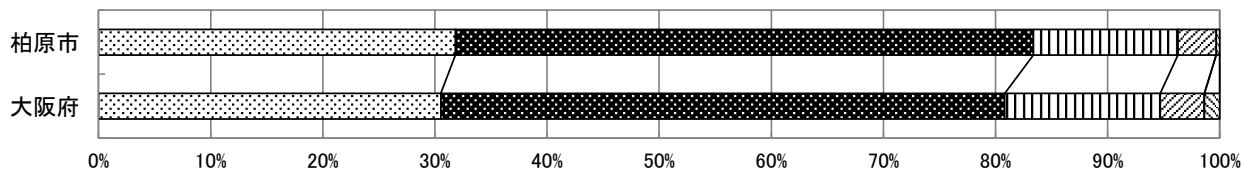


4. 教科別のアンケート調査結果

【国語】

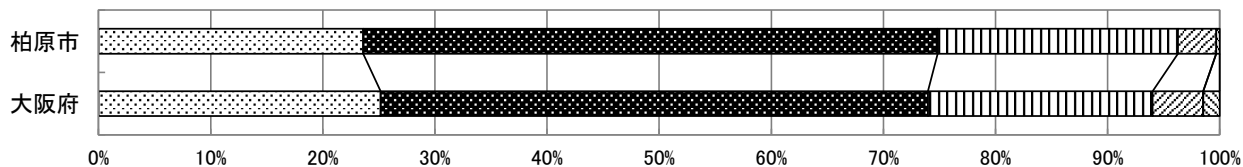
質問番号	質問事項									
国語(1)	国語の授業の内容はよく分かる。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	31.8	51.6	12.9	3.4	-	-	-	-	0.0	0.3
大阪府	30.5	50.3	13.9	3.9	-	-	-	-	0.0	1.4

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



質問番号	質問事項									
国語(2)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	23.6	51.2	21.4	3.4	-	-	-	-	0.0	0.3
大阪府	25.2	48.8	20.0	4.5	-	-	-	-	0.0	1.5

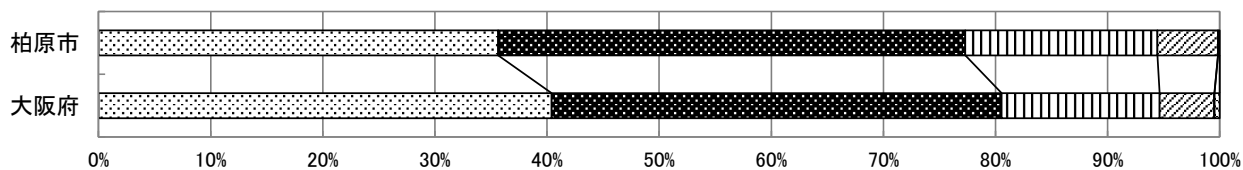
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



【社会】

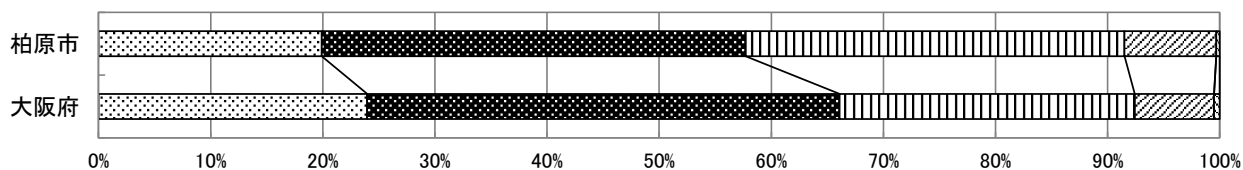
質問番号	質問事項									
社会(1)	社会の授業の内容はよく分かる。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	35.6	41.7	17.1	5.4	-	-	-	-	0.0	0.2
大阪府	40.4	40.1	14.1	4.9	-	-	-	-	0.0	0.5

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



質問番号	質問事項									
社会(2)	社会の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	19.9	37.8	33.8	8.2	-	-	-	-	0.0	0.3
大阪府	24.0	42.1	26.3	7.1	-	-	-	-	0.0	0.5

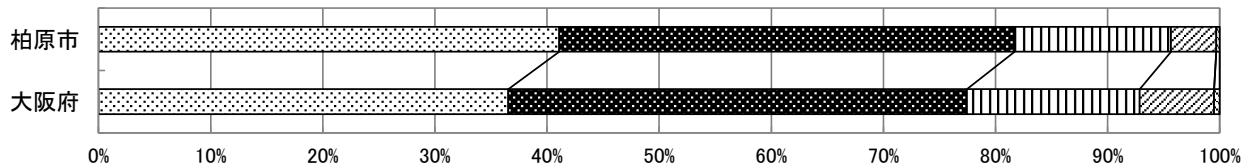
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



【数学】

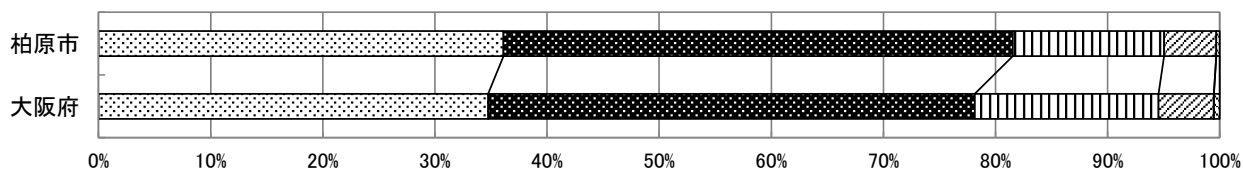
質問番号	質問事項									
数学(1)	数学の授業の内容はよく分かる。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	41.1	40.6	14.0	4.0	-	-	-	-	0.0	0.3
大阪府	36.5	40.9	15.4	6.6	-	-	-	-	0.0	0.5

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



質問番号	質問事項									
数学(2)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	36.1	45.4	13.5	4.7	-	-	-	-	0.0	0.3
大阪府	34.7	43.4	16.4	4.9	-	-	-	-	0.0	0.5

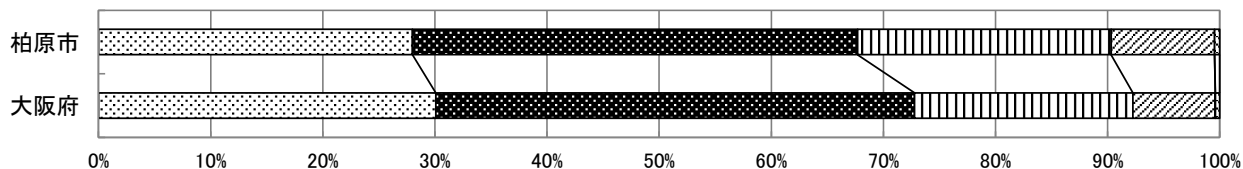
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



【理科】

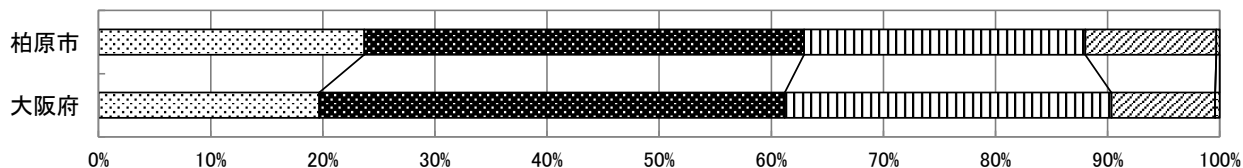
質問番号	質問事項									
理科(1)	理科の授業の内容はよく分かる。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	28.0	39.7	22.6	9.2	-	-	-	-	0.0	0.5
大阪府	30.1	42.7	19.5	7.3	-	-	-	-	0.0	0.4

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



質問番号	質問事項									
理科(2)	理科の授業で自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	23.7	39.2	25.1	11.7	-	-	-	-	0.0	0.3
大阪府	19.7	41.5	29.1	9.3	-	-	-	-	0.0	0.4

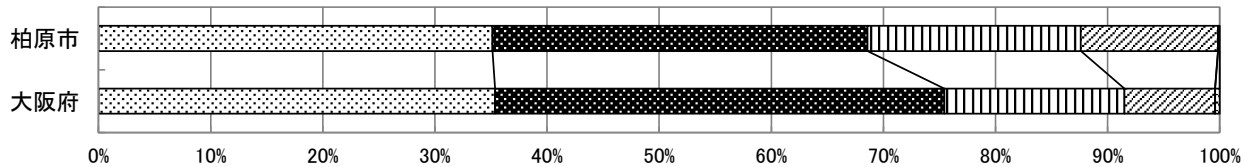
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



【英語】

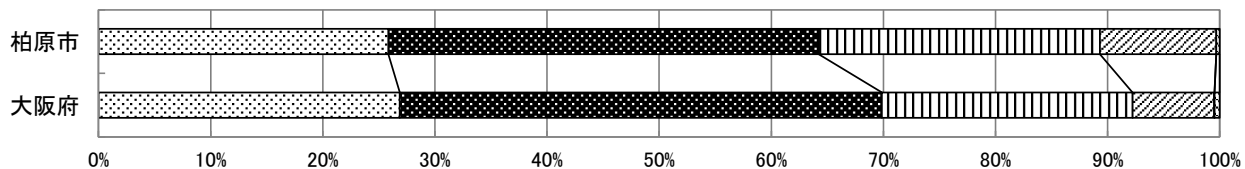
質問番号	質問事項									
英語(1)	英語の授業の内容はよく分かる。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	35.1	33.4	19.0	12.2	-	-	-	-	0.0	0.2
大阪府	35.4	40.1	16.1	8.1	-	-	-	-	0.0	0.4

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



質問番号	質問事項									
英語(2)	英語の授業で自分の考えを表現するとき、相手に伝わるよう工夫して話したり、書いたりしている。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	25.9	38.4	25.1	10.4	-	-	-	-	0.0	0.3
大阪府	26.9	43.0	22.3	7.3	-	-	-	-	0.0	0.5

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



5. 今後の取組み

(1) 調査結果の取り扱い

本調査の結果分析をとおして課題を明らかにし、今後の指導の改善につなげることとする。また、各学校においても分析をおこない、学校全体の学力状況の傾向や自校の課題について、全教職員で共有することが大切である。

これらをふまえ、調査結果の数値にとらわれることなく、分析結果から指導方法の工夫改善を行い、日々の授業を充実させる。

(2) 調査結果から明らかになった成果と課題

● 2-1 乖離率

大阪府平均得点に対する乖離率の高い項目について、以下に掲出する。

※乖離率＝{(柏原市平均／大阪府平均)－1}×100 (%)

【成果】

○国語：話すこと・聞くこと (+2.5%)
話す・聞く能力 (+2.5%)

○数学：関数 (+2.5%)

○理科：化学的領域 (+5.5%)
生物的領域 (+2.7%)
記述式 (+2.4%)

【課題】

○社会：記述式 (-3.9%)

○数学：数と式 (-2.6%)
数学的な見方や考え方 (-2.7%)
記述式 (-7.6%)

○理科：物理的領域 (-4.4%)
地学的領域 (-2.6%)

- 英語：聞くこと（－6.1%）
 - 読むこと（－4.2%）
 - 書くこと（－20.0%）
 - 外国語表現の能力（－20.0%）
 - 外国語理解の能力（－4.4%）
 - 言語や文化についての知識・理解（－7.3%）
 - 選択式（－4.8%）
 - 短答式（－5.0%）
 - 記述式（－20.0%）

● 2－2 具体的な課題

- 全体的に「書く力」をためず問題や「記述式」の問題の正答率が低く、無回答率も高い傾向にある。
- 英語においては全ての項目で大阪府との乖離率が高く、課題が多い。